

教室のご案内

受診の有無にかかわらず、どなたもご参加いただけます。すべての教室が予約制となります。

妊婦さん・産後ママのための教室

TEL:0594-82-6785

マタニティ・ヨーガ

開催日時 ▶ 第2・4木曜日
13:30~15:30
参加費 ▶ 700円
対象 ▶ 妊娠15週以降の
正常な妊娠経過
の方(医師の許可が
必要です)

マタニティ・フィットネス

開催日時 ▶ 金曜日
11:00~12:00
参加費 ▶ 700円
対象 ▶ 妊娠15週以降の
正常な妊娠経過
の方(医師の許可が
必要です)

ママ・ヨーガ

開催日時 ▶ 火曜日
11:00~12:00
参加費 ▶ 700円
対象 ▶ 産後のママ
(産後6週から2歳
位まで)

各種教室

TEL:0594-22-1211

糖尿病教室

開催日時 ▶ 8月20日(月) 14:00~15:30
糖尿病と夏野菜、食物繊維と血糖
9月25日(火) 14:00~15:30
糖尿病と動脈硬化
脂の少ないお肉をおいしく食べる方法
参加費 ▶ 864円
※糖尿病で当院通院中の方は保険適用が
あります

えんげ教室

開催日時 ▶ 8月31日(金) 13:00~14:00
えんげってなあに?
うまく飲み込むための工夫
~飲み物を中心に~
参加費 ▶ 864円

肝臓教室

開催日時 ▶ 9月10日(月) 14:00~15:30
肝硬変について
参加費 ▶ 864円
※肝臓病で当院通院中の方は保険適用が
あります

減塩教室

開催日時 ▶ 9月28日(金) 13:30~15:00
うまみを使用した減塩のコツ
参加費 ▶ 864円
※減塩の必要性のある疾患で当院通院中
の方は保険適用があります

NEWS

New hospital from East, West and South medical center
2018年4月桑名東・西・南医療センターが1つになり新病院が誕生しました。

桑名市総合医療センター 公式ページ URL / www.kuwanacmc.or.jp

桑名市総合医療センターニュース
第54号 2018年7月発行



〒511-0061 三重県桑名市寿町三丁目11番地
お問い合わせ先 桑名市総合医療センター広報

発行元: 地方独立行政法人桑名市総合医療センター
TEL: 0594-22-1211

NEWS

Kuwana City Medical Center

vol.54 | 脳卒中センター



Take Free



脳卒中からいのちを救う

脳卒中は日本人の死亡原因として1980年頃までは第1位でしたが、最近では血圧などの全身管理と脳卒中医療の進歩で、悪性新生物(がん)・心疾患・肺炎に続き死亡原因の第4位となりました。

脳卒中医療が進歩したと言っても、地域や施設によって治療成績に差があるのが現状です。最近の日本の研究で、24時間体制で高度な治療が行える包括的脳卒中センターでは「脳卒中の死亡率が26%低下する」という調査結果が報告されました。これを踏まえ、国や脳卒中関連の学会が高度先進医療を行える体制整備を推進しはじめています。

今回は、「脳卒中オール・イン・ワン」をキャッチフレーズにしてスタッフや設備を充実した集約型の診療体制に進化した脳卒中センターを紹介します。

脳卒中とは

脳卒中とは突然発症する脳血管障害の総称です。“卒”は突然、“中”は何か当たるという意味です。最近の統計では、全国で1年間に約29万人(再発含む)が脳卒中を発症し、うち11万人以上が亡くなり、寝たきりになる原因の約4割を占めています。

脳の太い血管が破裂する

くも膜下出血

脳の太い血管が風船のように膨れあがった“脳動脈瘤”が破裂する死亡率の高い病気です。脳動脈瘤の再破裂予防の処置が最優先されます。



主な治療方法

- ▶ 開頭クリッピング術
- ▶ 血管内治療
(脳動脈瘤コイル塞栓術)

脳深部の血管が破れる

脳出血

脳深部の細い血管が破綻して脳内に出血する高血圧の方に多い病気です。出血する場所や程度により、治療方法が異なります。



主な治療方法

- ▶ 血圧管理を中心とした保存的治療
- ▶ 危機的な状況下の患者さんの救命のための手術
- ▶ 大きく開頭せずに内視鏡を用いた血腫除去術

脳の血管がつまる

脳梗塞

脳の血管が動脈硬化によって詰まるアテローム血栓性梗塞と、不整脈のある心臓に血栓ができて脳に飛んでくる心原性血栓症が代表的です。



主な治療方法

- ▶ 薬剤療法
- ▶ rt-PA静注療法
- ▶ 血管内治療(機械的血栓除去術)

脳卒中 合言葉は「FAST(早く!)」

脳卒中の症状は、顔や手足の麻痺と言語障害が典型的です。症状が出たら、急いで救急車を呼んでください。脳卒中治療は時間との勝負です。

F ace

顔の麻痺

A rm

手の麻痺

S peech

呂律がまわらない

T ime

一刻も早く救急車を呼ぶ

Time is Brain

時間がいのち

時間の損失が
脳機能の損失につながる

脳卒中で倒れた患者さんの
退院するまでの流れを追いました
(脳梗塞の一例)

1 救急隊からのTEL

🕒 0:00



脳卒中が疑われる場合は、直接脳卒中センターの医師に連絡が入ります。

2 病院に到着・医師の診察開始

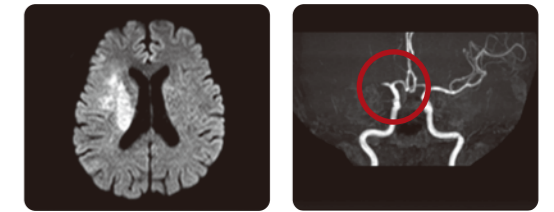
🕒 0:20



患者さんの症状を把握し、採血や点滴を開始します。

3 検査 (CT・MRI)

🕒 1:00



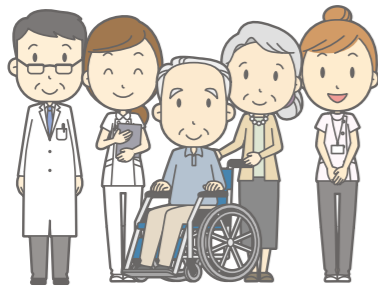
狭い範囲の脳梗塞
回復のチャンスあり!

閉塞した血管

脳梗塞の範囲と閉塞した血管の状態をみて、rt-PA 静注療法や血管内治療の適応を判断します。

7 転院・退院

2~4週間



退院または後遺症の程度に応じてリハビリをする病院へ転院します。

6 SCU・病室

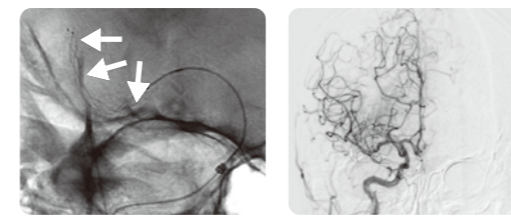
🕒 4:00



SCUで集中的な治療と全身管理を行い、病状が安定したら脳卒中一般病棟へ移動します。早期から専任スタッフによるリハビリを開始します。

5 血管内治療開始

🕒 2:00



ステント型
血栓回収デバイス

再開通した血管

rt-PAで溶けない大きな血栓の場合は、カテーテルを誘導し主に「ステント型血栓回収デバイス」を用いて血栓を除去します。

4 rt-PA静注療法開始

🕒 1:20



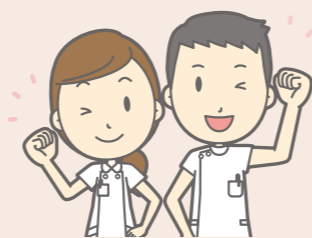
体重にあわせて至適容量の点滴を迅速に開始します。

詳しく 解説

＼ 脳卒中リハビリテーション 看護認定看護師 /

障害を抱えた患者さんに、生活再構築のためのケアを行い、その人らしい自立を支援する役割の看護師です。

当院では、脳卒中患者さんに早期から関わり、活躍しています。



＼ ホットライン /

消防局救急隊と当院の脳卒中センター医師をつなぐ救急専用電話です。より早く、より適切な対応ができるよう、当院では6月から運用を開始しました。

＼ rt-PA 静注療法 /

脳の細胞が死んでしまう前に、血栓(血の塊)を溶かし、血液が再び流れるようにする治療法です。発症後4.5時間以内の投与が条件で、麻痺の回復や後遺症が軽減する可能性が高くなります。

＼ SCU (脳卒中ケアユニット) /

急性期の脳卒中患者さん専用の病床です。当院では3床あり、脳卒中センター医師や専門スタッフが発症早期から24時間体制で集中的に治療します。



ひとりでは救えない。
医師だけでは救えない。

地域の 脳卒中治療を支える

24時間医師が常駐し、緊急対応

脳卒中センターでは、脳神経外科医師5名と脳神経内科医師2名がチームとなり迅速に脳卒中の治療を行っています。24時間365日体制で、検査、脳神経外科手術、脳血管治療に対応しています。

脳卒中の要「チーム医療」

脳卒中の治療というと、ついつい「最先端医療」や「エキスパートの手術」という点に注目が集まりがちですが、他の分野同様に「チーム医療」を必要とする領域です。

最善の脳卒中治療を提供するためには、理学療法や言語訓練、栄養管理や食事訓練、薬剤や輸液管理など多岐にわたる診療が必要です。また急性期治療後すぐにリハビリ転院ができるような準備も必要です。これらを行う多職種の専門スタッフは脳卒中センターには欠かすことができません。

個人的な考えではありますが、医者は神様ではないので出来ることには限界があると思っています。また「たかが脳神経外科医でそれ以外のことはできない」ので、周りから助けってもらわないと役立たずという自覚を忘れないようにしています。

ただ「医者は科学者の端くれ」なので、色々な研究結果に追従して「エビデンス(科学的根拠)」を尊重した医療を展開することが大切と思っています。



副病院長・脳卒中センター長
阪井田 博司(さかいだ ひろし)

1987年三重大学医学部卒業
三重大学先進的脳血管内治療学講座教授として、三重県全体の脳卒中医療に関わってきた経験を活かして、2018年5月より現職に就任し桑島地域の脳卒中医療の充実に取り組んでいる。

チーム医療を行う上で大切なのは患者さんの情報共有だと考えています。そこで脳卒中センターでは、様々なカンファレンスを開催しています。

モーニングカンファレンス

毎朝8時から脳神経外科・脳神経内科・研修医が集まり、入院患者さんの診断や治療方針などを検討します。脳神経外科と脳神経内科で得意分野が異なり、双方の知識を共有しながら議論できるため、正しい診断と適切な治療にとっても役立っています。また循環器内科の医師にも参加していただき、貴重な意見や的確な指導をしていただいています。



2 総回診

週1回、医師をはじめ看護師などチームメンバーが総勢20名程集まって行います。集中治療室から病棟まですべての患者さんの病室を回って、各部門の進捗状況などを確認します。スタッフの多さに患者さんがビックリされることもあります。患者さんの状況を関係者全員が把握しておくことはとても大切です。



3 Strokeカンファレンス

毎月第3月曜日に開催しています。診療科や職種を問わず、病院全体の脳卒中医療のレベルアップを図るためのカンファレンスです。

毎回テーマを決めて、若手や専門外のスタッフに向けた基本的な勉強から、世界標準の治療を目指したシステム作りまで様々な取り組みを行っています。毎回参加者は70名ほどですが、「脳卒中」や「脳神経外科」というと「とっつきにくい」、「敷居が高い」というイメージを持っている人が多いため、顔が見える関係を続けて相談しやすい雰囲気作りに役立てばと思っています。



脳卒中リハビリテーション 看護認定看護師

重篤化を予防し、今後の生活をみすえ、その人らしい自立を支援します。

白井さん



脳神経外科医

専門スタッフと共に、脳卒中の患者さんへ正しい診断と適切な治療を提供します。

濱田
医師

古川
医師

後藤
医師

阪井田
医師



脳神経内科医

専門的な内科治療を行うだけでなく、脳卒中再発予防に力を入れています。

大達
医師

佐々木
医師



看護師(SCU担当)

患者さんの一番身近にいるからこそわかる細かな変化を見落さず看護します。

赤瀬さん



チーム医療

「想いはひとつ」

—すべては患者さんのために—

脳卒中センターで共に医療に取り組むスタッフの想いを聞きました。

理学療法士

入院前の日常生活動作に少しでも早く近づけることを目標に自立を促します。

赤尾さん



作業療法士

今の能力をいかし、可能な限り元の日常生活に戻れるよう一緒に考え訓練します。

安井さん



言語聴覚士

訓練に欠かせない信頼関係を築くコミュニケーションを大切にしています。

松田さん



医療ソーシャルワーカー

患者さんやご家族が本音を言える相手であることで、不安や負担を軽減します。

米さん



薬剤師

安全に正しく薬が使用できるように医師や患者さんを手助けします。

森さん



管理栄養士

食べやすさ、飲み込みやすさに配慮し、患者さんの栄養状態を管理し改善します。

石咲さん



With you 医療人



桑名市総合医療センターの看護部理念は、「地域の皆さまに質の高い看護を実践し、一人ひとりの思いを大切にできる看護を提供します」です。

現在、当院では約450名の看護師がさまざまな部署で働いています。病棟や外来、手術室、救急室で働く看護師、認定看護師、専門看護師など、他にもたくさんの部署でチーム医療を支えています。

今回は、新しく整備された手術室で働く看護師に密着しました。

医師が手術に集中できるようにサポートする器械出し看護師

手術前

手術の流れを何度もシミュレーションし、実際に手術に必要な器具を並べて手術の流れを確認します。手術当日は、手術器具を展開（滅菌消毒され密封された袋から器具を取り出すこと）し、外回り看護師と一緒に手術器具やガーゼなどの衛生材料の数を数えます。



手術中

医師がスムーズに手術を行えるよう、手術の様子を確認しながら次に必要な手術器具を予想し、すぐに手渡せるように準備します。手術が終了する前に手術器具やガーゼなどの衛生材料の数を数え、手術前と同じだけあるか確認します。



手術後

手術終了後、もう一度外回り看護師と一緒に手術器具やガーゼなどの衛生材料の数を数えます。何度も確認することで、身体の中へ器具を置き忘れるなどの医療事故防止につながっています。



吉永さん



患者さんの身体の負担を減らすため、1分1秒でも早く手術が終わるように、スムーズな器械出しを心掛けています。

水谷さん



新病院の配属で手術室を希望しました。スタッフの皆さんが手術に集中できるように、先をよんでサポートしています。

患者さんに寄り添い、安全な手術ができるように全体をサポートする外回り看護師

手術前

手術前に患者さんを訪問し、手術の説明をします。患者さんやご家族が疑問や不安に思っていることを聞き、十分説明します。手術当日は、必要なものを用意したり、患者さんの当日の状態などを情報収集します。手術室に入る患者さんが安心してできるよう、笑顔で出迎えます。



手術中

患者さんの状態を観察し、出血量の測定、尿量のチェックなどを行います。また、不足しそうな薬剤や手術器具などがあった場合の補充や輸血の準備を行います。また、手術室には、さまざまな医療機器が配置されている為、手術の妨げにならないように、環境整備や安全の確認をしています。



手術後

手術終了後は、器械出し看護師と一緒に手術器具やガーゼなどの衛生材料の数を数えます。その後、麻酔科医と一緒に病棟へ患者さんを送り、病棟看護師に手術中に使用した薬剤や手術中の経過などについて申し送りをを行います。



手術室看護師長 早川 武司さん

現在、手術室は25名の看護師が所属し、月約220件の手術に対応しています。医師が増えたことにより、緊急手術への対応も増加し、心臓血管外科の手術など新しい手術も始まりました。手術室スタッフは手術時間を短縮することで患者さんの負担が減るよう、日々勉強しています。スタッフ全員がレベルアップできるよう、サポートしたいと思っています。





お家でやってみよう! リハビリ体操

体操と一口に言ってもリハビリに関する体操は、いろいろな疾患別の体操や予防のための体操など、種類も方法もたくさんあります。ここでは、お家で手軽にできる体操を2種類紹介します。

残念ながら、これらの体操がすべての方に有効とは限りません。また、強い痛みがある方は、かかりつけ医にご相談ください。



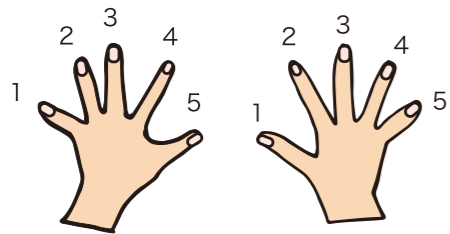
リハビリテーション室室長
理学療法士 赤尾 和則さん

脳を活性化させる手指の体操

手指には、脳につながる神経細胞が他の体の部位よりも多いので、手指は「第2の脳と」言われています。複雑に動かして脳を活性化させましょう。

■ 両手同時指折り

右手は親指から、左手は小指から順番に指折ります。全て指折りをしたら次に右手は親指から、左手は小指から順番に指を開いていきます。5回行いますが、徐々に指を折るスピードを速くします。



■ 一人じゃんけん

右手と左手を使って一人じゃんけんをします。右が<勝ち>、左が<負け>になるようにします。5回行ったら次に右手が<負け>、左手が<勝ち>になるように5回行います。

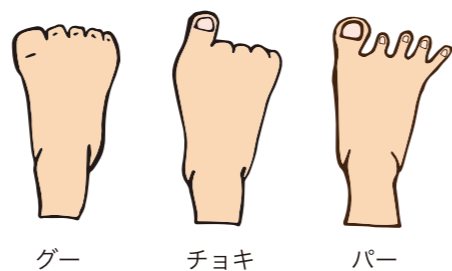


転倒予防に役立つ足趾運動

人は立つとき、歩くとき、走るとき、バランスをとるときに「足裏」を使います。足裏の筋肉を使うことで体の土台を強化し、こけにくい体づくりをしましょう。

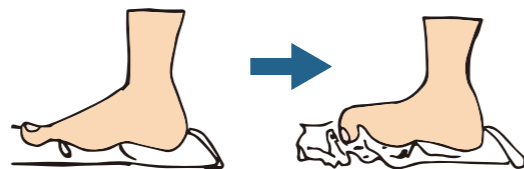
■ 足趾じゃんけん

次は、手指ではなく足趾でグー・チョキ・パーの形を作りましょう。特に足趾をしっかりと広げるように頑張りましょう。



■ タオルギャザートレーニング

足趾のみを使って床に敷いたタオルをつかみ、たぐり寄せる運動です。



NEW 新たな取り組み

三重大学病院との 人事交流

平成30年4月から三重大学病院との人事交流制度がはじまりました。第1弾として看護部で交流人事が行われました。新病院を支える力となる看護部に着任した、副看護部長の水谷泰子さんにインタビューを行いました。

Q.人事交流について

他の病院を知ることは大きなチャンス!!

大学病院とそれ以外の病院での看護職の人事交流は“三重県初”のことです。初となる人事交流に関わることができてとても光栄です。私は、これまで大学病院以外で働いたことはなく、「ここしか知らない」状態でした。他の病院を知るということは、自分の病院を客観的に見ることにつながり、改善すべき点や良い点に気付くことができる大きなチャンスだと感じています。

Q.着任後すぐの新病院開院で感じたこと

3つの病院がひとつになる歴史的イベントにワクワク

数年前に大学病院の引越しを経験し大変でしたが、それ以上に新しい病院になることに心が躍りました。今回は、3つの病院がひとつになる歴史的なイベントに立ち会うことができ、とても光栄でした。新病院への引越しもトラブルなく終わったので、とても安心しました。新病院開院を迎えるために何年も準備をしてきた方々のご尽力に敬服いたします。

Q.桑名へ着任して2ヵ月たち、今思うこと

この2ヵ月でさまざまな事を知り、感じる事ができた

大学病院で入院患者さんの高齢化が進んでいると感じていた数年ですが、桑名はその比ではありませんでした。救急車で運ばれてくる高齢の患者さんの多さに驚き、これが三重県の現状なのだと思知らされました。地域の急性期病院の大切さ、そして、市民の方々の健康を支える当院の役割は重要であると改めて感じています。

Q.今後取り組んでいきたいこと

私の役目、それは2つの病院の懸け橋になること

人事交流を続ける事で、2つの病院の看護職員がそれぞれの病院の良さを知るとともに、自分たちの看護について語り合い、看護の質を高め、お互いの病院の患者さんに「やってもらって良かった」と思ってもらえる看護を提供できるようにしていきたいと思っています。そして、その仕組みを作るため、2つの病院の懸け橋になる事が私の役目だと思っています。



副看護部長 水谷泰子さん

1994年三重大学病院に就職。2007年同看護部長。循環器内科・腎臓内科・消化器肝臓内科、脳神経外科・神経内科の看護に携わり、安全管理部を経て2015年より副看護部長。2018年4月より人事交流のために桑名市総合医療センターへ出向となった。認定看護管理者。看護学修士。

3病院を集約した新病院の開院!! 開院式と内覧会を開催しました

4月1日に新病院の開院式が行われました。式典では、病院長、理事長、桑名市長の挨拶、来賓の祝辞がありました。その後テープカットをし、開院式終了後、来賓の方が新病院を内覧されました。また、4月7日に地域の方向けの内覧会を行い、約2,500の方が来訪されました。今後もより一層、地域の皆さまから信頼される病院を目指し、最良の医療を提供します。



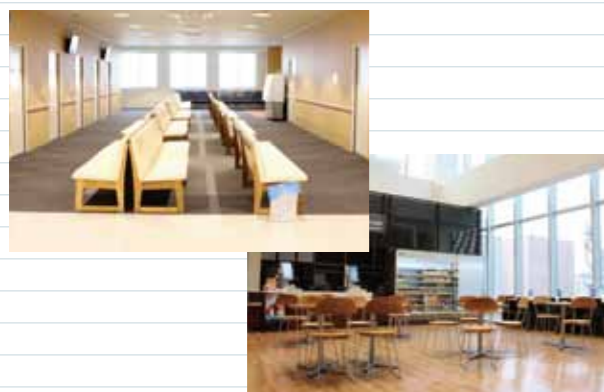
新しいスタッフを迎えて 各種研修を行い、自立した専門職を目指します

当院では、4月に約60名の新しいスタッフを迎え、新人研修を行いました。研修では、当院の職員が講師となり、医療機器の安全管理や個人情報の取り扱い、感染対策など、様々な内容の研修を行いました。こうした研修を通じて、新人スタッフは、知識や技術を着実に深めていきます。



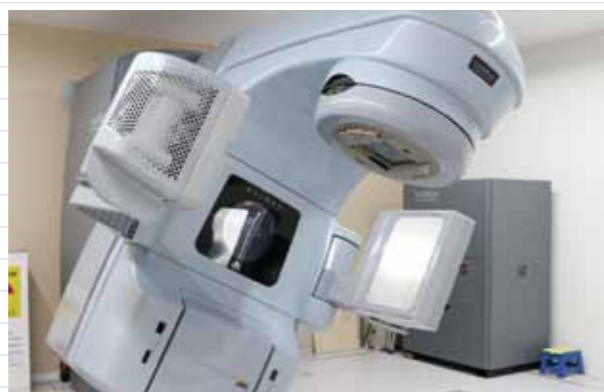
「みえ森と緑の県民税」を 活用しました

「みえ森と緑の県民税」を活用して、三重県産の木材を用いたテーブルとイスを外来棟3・4階待合スペース、入院棟3階総合受付、カフェスペース、ラウンジコーナー、各病棟デイルームに設置しました。温かみのあるテーブルとイスを是非ご利用ください。



新たなる第一歩 放射線治療が始まりました

6月から、桑名地域初の放射線治療が始まりました。放射線治療とは、放射線を照射することでがん細胞を死滅させる治療方法で、手術、抗がん剤治療、免疫療法などと並んで、がん治療に欠かすことができない治療です。



新病院NEWS } まもなく西棟リニューアルオープン!

現在、西棟の改修工事を行っています。以前の病室や外来の壁を抜き、新しい空間づくりを行っています。改修後は、平成30年10月から3階～7階で健診センター、リハビリテーション室、透析室、病室の運用を開始する予定です。西棟全館の改修工事終了は11月末の予定です。改修工事中はご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。



改修工事現場へ GO! GO!

6月中旬、管理棟2階の化学療法室の改修工事を見学してきました。改修工事では部屋の壁を抜き、一つのフロアとして生まれ変わりました!!



壁に線をひき、ボードカッターで切り込みを入れて壁をはがします。



柱を、カットしていきます。



NEW 広々としたフロアとして生まれ変わりました。